

長久手市中央図書館事業報告（7月）

おはなし会

事業名	日時	参加人数
大人のおはなし会〔読書会〕（吾亦紅）	7/4(火)	22人
乳幼児向けおはなし会〔ブックスタート併用日〕 （図書館ボランティア協力）	7/6(木)	106人 対象者 26人
おはなし会〔幼児から低学年〕（吾亦紅）	7/8(土)	19人
おはなし会〔幼児から低学年〕（図書館ボランティア）	7/15(土)	36人
ブックスタートおはなし会（図書館ボランティア協力）	7/15(土)	41人 対象者 9人
乳幼児向けおはなし会（図書館ボランティア）	7/20(木)	45人
小学生向けおはなし会	7/20(木)	53人
小学生向けブックトーク	7/21(金)	29人
えいごのおはなし会（レディバグ）	7/22(土)	26人

閲覧室内企画展示

テーマ	資料内容・企画意図
オビオビ大作戦	読書感想文におすすめの本120冊（児童対象）に図書館の司書が手作りのオビを付け、紹介文も記載。あわせて「感想文の書き方プリント」も配布。
戦争の本	戦争について考えるきっかけになるような、絵本、物語などを新旧交え80冊選書（児童対象）。「かわいそうなゾウ」、「ばんぷきん」、「ヒロシマ8月6日 少年の見た空」など。
愛知縁の文学者	愛知県に縁のある作家・詩人・歌人・評論家等を取りあげる。今まで知らなかった郷土の文学者との出会いや既知の作品を改めて身近に感じる機会となる本を約140冊選書。
夏の読書脳 ―鏡―	暑くて家にいる時間の多い夏に文学作品に浸る。怪談話を得意とする作家、泉鏡花の作品のほか、鏡花から連想した「鏡」を主題に用いた作品などを約30冊選書。
YA! BOOKSコーナー 夏の1冊	中学生・高校生を対象とした読書感想文向けの本を選書。「感想文の書き方プリント」も配布、感想文の書き方参考書も展示。
文化の家コラボレーション:ながくて映画まつり	ながくて映画まつりのテーマに関連する本、「名犬ラッシー」はじめ犬が活躍する本を選書。
追悼 日野原重明さん	医師・医学博士。100万部を超えるベストセラー「生き方上手」のほか、生き方、いのちについての著者本。
追悼 おかべりかさん	漫画家・挿絵画家。児童書「おばけやさん」シリーズ、「ムジナ探偵局」シリーズなど。
追悼 砂川啓介さん	俳優。妻で女優・声優の大山のぶ子さんの認知症介護日記「娘になった、妻・のぶ代へ」

その他

事業名等	日時
めりーらいん10周年記念イベント (図書館連携による健康支援事業)	メリーちゃんのイラストぬり絵募集 7/15(土)～8/31(木)
学校連携事業会議	7/19(金) 15:15～16:00
たけのやまイレブンのおはなし会 (名古屋学芸大学に事業協力)	7/26(水) 14:00～16:30

8月の予定

おはなし会

事業名	日時
大人のおはなし会〔読書会〕(吾亦紅)	8/1(火)
乳幼児向けおはなし会〔ブックスタート併用日〕 (図書館ボランティア協力)	8/3(木)
おはなし会〔幼児から低学年〕(吾亦紅)	8/12(土)
乳幼児向けおはなし会(図書館ボランティア)	8/17(木)
おはなし会〔幼児から低学年〕(図書館ボランティア)	8/19(土)
ブックスタートおはなし会(図書館ボランティア協力)	8/19(土)
えいごのおはなし会(レディバグ)	8/26(土)

閲覧室内 企画展示 (7月からの変更分)

テーマ	内 容
将棋 おとなりの藤井くんがすごいです	将棋のルールなどの解説、戦法指南、歴史、棋士の著者本など35冊。
夏を満喫	昆虫、植物など自然科学系の本を中心に、スポーツや文化・風習の本を交え、80冊選書

その他

事業名	日時
図書館見学ツアー(小学生)	8/3(木)
愛知淑徳大学生図書館実習(司書課程)	8/9(水)～15(火)

平成29年度 中央図書館 目標管理(事業計画)

	課題・問題点	目 標	実施項目	第1四半期 点検評価	年間スケジュール													中間検証
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
1	児童館の古い本の入れ替えが済んでいない	最大4館を入れ替え	1.現場での除籍本調査・選定(長久手西または青児) 2.新しい本の配置(上郷、長久手西または青児) 3.整備済みの2館へ本の貸出を実施(下山、長久手南)	上郷児童館への団体貸出が完了し、約500冊の図書を配本整備することができた。 子育て支援課と協議の場をもち、児童館の現場管理者の意見も踏まえて、着手する児童館を選定する方針を取り決めた。														
2	中高生の読者層が少ない	中高生への貸出冊数を前年度比2%(約370冊)増(前年度18,582冊)	1.中央図書館司書と学校連携司書で400冊本を選らぶ。 2.PR目的の展示・告知コーナーを設け、わかりやすい図書リスト等を掲示。 3.図書館HPに、専用ページを設け、毎月更新。	本の調査選定では、第1期分として約230冊の図書を選定した。展示用の図書は、4月中に選書が済み、当初計画より早く4月中旬から「部活」「雨に関するミステリー」など、テーマ別の展示棚を開設することができた。														
3	不明本の発生がある	年間の不明本冊数を前年度比3割(約90冊)減らす。(前年度310冊)	1.不明化傾向分析に基づく配置換え。 2.本にマーキング	不明化傾向のあった旅行書はカウンターの前に配置換えし、これを継続することとした。 不明化傾向のあった特定週刊誌は、館所蔵を示す赤色スタンプを押印。以後は、不明化していない。														
4	延滞本が減らない	30日以上延滞者を3割減らす。(前年同月比)	督促対象延滞日数を30日以上から15日以上へ変更し、運用を始めた。ハガキを郵送もしくはメールで連絡。	督促対象延滞日数を30日以上から15日以上へ変更し、運用を始めた。延滞量は減衰傾向を見せ始めている。貸出レシートに印字される文字を、返却期限を守るよう呼びかける文面に改めた。														